# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日


上場会社名　保土谷化学工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4112　URL　http://www.hodogaya.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 喜多野　利和
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長　(氏名) 富山　裕光　TEL 03-5299-8019

四半期報告書提出予定日　平成25年2月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第3四半期 | 25,377 | △0.6 | 181 | △81.8 | △71 | ― | △827 | ― |
| 24年3月期第3四半期 | 25,529 | 4.0 | 998 | △39.6 | 625 | △45.7 | 1,023 | 112.5 |

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　237百万円　(△44.8%)　24年3月期第3四半期　430百万円　(△13.9%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第3四半期 | △10.47 | ― |
| 24年3月期第3四半期 | 12.94 | 12.94 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年3月期第3四半期 | 50,993 | 27,873 | 51.4 |
| 24年3月期 | 52,116 | 28,184 | 51.8 |

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　26,223百万円　24年3月期　27,004百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | ― | 4.00 | ― | 4.00 | 8.00 |
| 25年3月期 | ― | 2.00 | ― | | |
| 25年3月期(予想) | | | | 2.00 | 4.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 35,300 | 0.3 | 800 | △53.3 | 300 | △75.6 | △1,200 | ― | △15.17 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料4ページ「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年3月期3Q | 84,137,261 株 | 24年3月期 | 84,137,261 株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年3月期3Q | 5,035,632 株 | 24年3月期 | 5,028,456 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 25年3月期3Q | 79,105,201 株 | 24年3月期3Q | 79,105,819 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（６）セグメント情報等 …… 11

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

〔機能性色素セグメント〕

電子材料事業は、長期化する景気低迷を背景に、需要が回復せず、大幅な減収となりました。
色素材料事業は、文具用染料では、景気低迷により需要が鈍化したことで、販売が減少したものの、
アルミ着色用染料が、国外の需要の伸張により、増収となりました。
有機ＥＬ材料事業は、SFC Co.,Ltd. を、前期第2四半期から連結子会社化したことに加え、
同社の会計期間の変更もあり、大幅な増収となりました。
以上の結果、当セグメントの売上高は、74億95百万円となり、前年同期比6億54百万円（9.6%）の増収、
となりました。

〔機能性樹脂セグメント〕

樹脂材料事業は、ＰＴＧ（ウレタン原料）が、景気低迷による国内需要の減少、
ならびに一部顧客での開発の遅れにより、減収となりました。
タイヤ用途向け接着剤は、国内では、エコカー減税の終了に伴い、また、中国向けでは、日本メーカーの、
自動車販売の減少により、減収となりました。
特殊化学品事業は、樹脂関連分野の需要が、国外の顧客での生産調整により減少したものの、
医薬品分野は、顧客での新規拡販により、前年同期並みの売上となりました。
建築材料事業は、材料販売では、ウレタン系防水材分野での改修物件の継続的な獲得により、
増収となりましたが、防水・止水工事では、大型物件が、昨年比で大幅に減少したことに伴い、
中・小型物件を中心とした受注獲得となったことから、減収となりました。
以上の結果、当セグメントの売上高は、87億93百万円となり、前年同期比31百万円（0.4%）の減収、
となりました。

〔基礎化学品セグメント〕

過酸化水素は、主力の紙パルプ分野での競争激化により、減収となりました。
過炭酸ナトリウムは、家庭洗剤向けで、新規の用途展開が進んだことと、顧客のシェアが増えたことにより、
増収となりました。
工業薬品関連は、競争激化に伴う受注獲得の減少により、減収となりました。
以上の結果、当セグメントの売上高は、53億30百万円となり、前年同期比5億54百万円（9.4%）の減収、
となりました。

〔アグロサイエンスセグメント〕

アグロサイエンス事業は、ゴルフ場向け新規除草剤の上市に伴い、販売が増加したものの、
一部の殺虫剤製品の販売終了と、家庭園芸用除草剤で、顧客での生産調整の影響を受け、減収となりました。
以上の結果、当セグメントの売上高は、26億9百万円となり、前年同期比2億27百万円（8.0%）の減収、
となりました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、253億77百万円となりました。
また、損益面では、営業利益1億81百万円を確保いたしましたが、
経常損失は71百万円、四半期純損失は8億27百万円、となりました。

### （２）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末（12月末）における資産合計は、509億93百万円となり、
前連結会計年度末（3月末）比11億22百万円の減少となりました。
資産の減少の主な要因は、たな卸資産が9億17百万円、有形固定資産が8億5百万円増加した一方、
受取手形及び売掛金が17億9百万円減少したことなどによるものです。
負債は、前連結会計年度末比8億11百万円の減少となりました。
その主な要因は、長期・短期借入金6億27百万円が増加した一方、支払手形及び買掛金2億90百万円、
未払金が9億40百万円減少したことなどによるものです。
純資産は、前連結会計年度末比3億11百万円の減少となりました。
その主な要因は、少数株主持分が4億53百万円増加した一方、利益剰余金が13億2百万円減少したことなどによるものです。
以上の結果、自己資本比率は、51.4%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月7日公表の業績予想に変更はありません。

## ２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、海外連結子会社であるSFC Co.,Ltd.は、決算期が12月31日であり、同社決算日の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、必要な調整を行っておりましたが、当第3四半期連結会計期間中に、同社が決算日を3月31日に変更いたしました。この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は、平成24年1月1日から平成24年12月31日までの12ヶ月間を連結しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

一部の連結子会社は、法人税の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

## ３．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成24年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成24年12月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,398 | 6,607 |
| 受取手形及び売掛金 | 11,572 | 9,862 |
| 有価証券 | 300 | ― |
| 商品及び製品 | 3,603 | 4,614 |
| 仕掛品 | 573 | 155 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,369 | 1,693 |
| 繰延税金資産 | 368 | 131 |
| その他 | 716 | 502 |
| 貸倒引当金 | △22 | △16 |
| 流動資産合計 | 24,878 | 23,551 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 5,663 | 6,581 |
| 土地 | 11,223 | 11,242 |
| その他（純額） | 4,538 | 4,406 |
| 有形固定資産合計 | 21,425 | 22,230 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,772 | 1,502 |
| その他 | 445 | 468 |
| 無形固定資産合計 | 2,218 | 1,971 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,614 | 2,615 |
| 長期貸付金 | 32 | 46 |
| 繰延税金資産 | 28 | 20 |
| その他 | 1,104 | 733 |
| 貸倒引当金 | △185 | △174 |
| 投資その他の資産合計 | 3,594 | 3,240 |
| 固定資産合計 | 27,237 | 27,442 |
| 資産合計 | 52,116 | 50,993 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成24年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成24年12月31日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,344 | 5,054 |
| 短期借入金 | 6,392 | 6,780 |
| 未払法人税等 | 240 | 281 |
| 引当金 | 614 | 302 |
| 資産除去債務 | 39 | ― |
| その他 | 2,748 | 1,896 |
| 流動負債合計 | 15,380 | 14,315 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 66 | ― |
| 長期借入金 | 5,136 | 5,376 |
| 繰延税金負債 | 1,218 | 1,243 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,428 | 1,428 |
| 引当金 | 244 | 213 |
| その他 | 457 | 543 |
| 固定負債合計 | 8,551 | 8,804 |
| 負債合計 | 23,931 | 23,119 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 11,196 | 11,196 |
| 資本剰余金 | 9,590 | 9,590 |
| 利益剰余金 | 5,924 | 4,621 |
| 自己株式 | △1,690 | △1,692 |
| 株主資本合計 | 25,020 | 23,716 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △222 | △241 |
| 繰延ヘッジ損益 | △10 | △7 |
| 土地再評価差額金 | 2,583 | 2,583 |
| 為替換算調整勘定 | △365 | 173 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,983 | 2,507 |
| 新株予約権 | 52 | 67 |
| 少数株主持分 | 1,128 | 1,581 |
| 純資産合計 | 28,184 | 27,873 |
| 負債純資産合計 | 52,116 | 50,993 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成24年４月１日<br>至　平成24年12月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 25,529 | 25,377 |
| 売上原価 | 17,611 | 17,642 |
| 売上総利益 | 7,917 | 7,735 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,919 | 7,553 |
| 営業利益 | 998 | 181 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8 | 30 |
| 受取配当金 | 63 | 64 |
| 固定資産賃貸料 | 49 | 61 |
| 持分法による投資利益 | 11 | － |
| 雑収入 | 93 | 143 |
| 営業外収益合計 | 226 | 299 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 147 | 144 |
| 退職給付費用 | 230 | 230 |
| 雑損失 | 220 | 176 |
| 営業外費用合計 | 599 | 551 |
| 経常利益又は経常損失（△） | 625 | △71 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 18 |
| 災害損失引当金戻入額 | 135 | 4 |
| 補助金収入 | － | 108 |
| 段階取得に係る差益 | 622 | － |
| 抱合せ株式消滅差益 | 54 | － |
| その他 | 15 | 10 |
| 特別利益合計 | 828 | 142 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 57 | 10 |
| 投資有価証券評価損 | 13 | 41 |
| 子会社株式売却損 | 91 | － |
| 災害による損失 | 128 | 0 |
| 事故関連損失 | － | 37 |
| 本社移転費用 | － | 21 |
| 減損損失 | 52 | － |
| ゴルフ会員権評価損 | 0 | 0 |
| その他 | － | 0 |
| 特別損失合計 | 343 | 111 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△） | 1,110 | △40 |
| 法人税等 | △36 | 549 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△） | 1,146 | △589 |
| 少数株主利益 | 122 | 238 |
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | 1,023 | △827 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成24年４月１日<br>至　平成24年12月31日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△） | 1,146 | △589 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △331 | △18 |
| 繰延ヘッジ損益 | 2 | 3 |
| 土地再評価差額金 | 204 | ― |
| 為替換算調整勘定 | △618 | 841 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 25 | ― |
| その他の包括利益合計 | △716 | 826 |
| 四半期包括利益 | 430 | 237 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 497 | △304 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △67 | 541 |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成24年４月１日<br>至　平成24年12月31日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△） | 1,110 | △40 |
| 減価償却費 | 1,115 | 1,338 |
| 減損損失 | 52 | － |
| のれん償却額 | 338 | 485 |
| 引当金の増減額（△は減少） | △421 | △37 |
| 受取利息及び受取配当金 | △72 | △94 |
| 支払利息 | 147 | 144 |
| 持分法による投資損益（△は益） | △11 | － |
| 為替差損益（△は益） | △30 | △6 |
| 段階取得に係る差損益（△は益） | △622 | － |
| 抱合せ株式消滅差損益（△は益） | △54 | － |
| 有形固定資産売却損益（△は益） | △0 | △18 |
| 固定資産除却損 | 31 | 6 |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | 13 | 41 |
| 子会社株式売却損益（△は益） | 91 | － |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 1,543 | 1,759 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △1,271 | △843 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 715 | △329 |
| その他の資産・負債の増減額 | 363 | 119 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | △19 | 93 |
| その他 | △73 | 12 |
| 小計 | 2,944 | 2,631 |
| 利息及び配当金の受取額 | 71 | 99 |
| 利息の支払額 | △156 | △143 |
| 法人税等の支払額 | △311 | △204 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,547 | 2,383 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △19 | △60 |
| 定期預金の払戻による収入 | 1 | 140 |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △1,715 | △3,014 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 1 | 36 |
| 資産除去債務の履行による支出 | － | △24 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2 | △55 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 544 | 4 |
| 貸付けによる支出 | △23 | △11 |
| 貸付金の回収による収入 | 2 | 3 |
| 差入保証金の差入による支出 | △163 | △59 |
| 差入保証金の回収による収入 | 26 | 253 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △1,172 | － |
| その他 | 0 | △2 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,519 | △2,788 |

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成24年４月１日<br>至　平成24年12月31日） |
|---|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | 220 | － |
| 長期借入れによる収入 | 2,620 | 1,890 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,251 | △1,266 |
| 社債の発行による収入 | 73 | － |
| 社債の償還による支出 | － | △71 |
| 配当金の支払額 | △315 | △315 |
| 少数株主からの払込みによる収入 | 5 | － |
| 少数株主への配当金の支払額 | △7 | △88 |
| 自己株式の売却による収入 | 0 | 0 |
| 自己株式の取得による支出 | △1 | △1 |
| リース債務の返済による支出 | △15 | △19 |
| ストックオプションの行使による収入 | 2 | － |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,330 | 127 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △200 | 258 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 1,158 | △19 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,476 | 6,557 |
| 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 25 | － |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,660 | 6,538 |

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）
1．報告セグメントごとの売上高及び営業利益又は営業損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 四半期連結損益計算書計上額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 機能性色素 | 機能性樹脂 | 基礎化学品 | アグロサイエンス | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 6,841 | 8,824 | 5,884 | 2,836 | 24,387 | 1,141 | 25,529 | ― | 25,529 |
| (2)セグメント間の内部売上高又は振替高 | 0 | 53 | 47 | ― | 100 | 535 | 636 | △636 | ― |
| 計 | 6,841 | 8,878 | 5,932 | 2,836 | 24,488 | 1,676 | 26,165 | △636 | 25,529 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 56 | 391 | 259 | 64 | 772 | 250 | 1,022 | △24 | 998 |

(注1) 各セグメントの主な製品
(1)機能性色素・・・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機ＥＬ材料、各種染料等
(2)機能性樹脂・・・・・ウレタン系及びセメント系各種建築土木用材料
ＰＴＧ（ウレタン原料）、一般化学工業用基礎原料等
(3)基礎化学品・・・・・過酸化水素等
(4)アグロサイエンス・・農薬原体、製剤等
(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、倉庫業及び貨物運送取扱業、研究受託業務等を含んでおります。
(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。
(注4) 当第3四半期連結累計期間のセグメント利益の調整額△24百万円は、セグメント間取引消去であります。

2．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
当社の本社移転に伴い一部設備の処分が見込まれるため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。
その結果、「その他」セグメントにおいて48百万円、「アグロサイエンス」セグメントにおいて4百万円、それぞれ減損損失を計上しております。
なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において52百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)
「機能性色素」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間にSFC Co.,Ltd.(韓国)の株式を取得し、連結の範囲に含めたため、のれんが発生しております。
また、第2四半期連結会計期間にSFC Co.,Ltd.(韓国)の株式を一部売却しております。
従って、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、1,330百万円であります。

「アグロサイエンス」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に保土谷アグロテック株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたため、のれんが発生しております。
なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、161百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び営業利益又は営業損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 四半期連結損益計算書計上額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 機能性色素 | 機能性樹脂 | 基礎化学品 | アグロサイエンス | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 7,495 | 8,793 | 5,330 | 2,609 | 24,228 | 1,148 | 25,377 | － | 25,377 |
| (2)セグメント間の内部売上高又は振替高 | 258 | 79 | 115 | － | 453 | 551 | 1,005 | △1,005 | － |
| 計 | 7,754 | 8,872 | 5,446 | 2,609 | 24,682 | 1,700 | 26,382 | △1,005 | 25,377 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 184 | 33 | 203 | △456 | △36 | 208 | 172 | 9 | 181 |

（注1）各セグメントの主な製品

(1)機能性色素・・・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機ＥＬ材料、各種染料等

(2)機能性樹脂・・・・・ウレタン系及びセメント系各種建築土木用材料
ＰＴＧ（ウレタン原料）、一般化学工業用基礎原料等

(3)基礎化学品・・・・・過酸化水素等

(4)アグロサイエンス・・農薬原体、製剤等

（注2）「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、倉庫業及び貨物運送取扱業、研究受託業務等を含んでおります。

（注3）セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

（注4）当第3四半期連結累計期間のセグメント利益の調整額9百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。